

# 研民會報

No. 2!  
'75, 7. 8

發行 青  
会 國 民 主 義  
教 育 研 究 会

京都大会で会いましょう

充実した分科会討論をめぐりして

高田、伊藤、的井(大阪)

第六回大会準備は、京都府社会村教育研究会が支援の決議をあげて下さるなど、文字通り京都のながまの全面的協力によって準備がすすめられています。

レポートの内容もそろいつつあり、メインレポートの要旨をあらかじめプリントして参加者全員に配布するという今年はじめの計画も実行できそうです。

## 第一分科会

「民主主義思想をどう教えるか」

司会 関戸録二(愛知) 門脇一生(東京)

記録 小松一代(大阪)

主レポート 「伝記を素材とした倫社の授業」

サブ・レポート(東京)(京都)

金森洋司(福井)

## 第二分科会

「憲法をどう教えるか」

司会 松川(愛知) 記録 岡本(滋賀)

主レポート 「小・中・高校で憲法をどう教えるか」

高田、伊藤、的井(大阪)

## 第三分科会

「経済をどう教えるか」

司会 長谷川勝祝(埼玉) 記録 西脇敏史(滋賀)

主レポート 「発表形式による経済学習」(中山甲子三郎)

サブ・レポート(東京)(京都)

## 第四分科会

「政経社の基礎学力」

司会 早川利雄(東京) 記録 (京都)

主レポート 「京都府教委の案について」(京都)

サブ・レポート (愛知)

## 第五分科会

「地域民主主義の教化」

司会 二宮 吾(大阪) 記録(京都)

主レポート「八鹿高校からの報告」(兵庫)

サブレポート(神奈川)(埼玉)(京都)

### 第六分科会

「教師と生徒の集団づくり」

司会 沢井充夫(大阪) 記録(京都)

主レポート「峰山ニ中の実践」(京都)

サブレポート「倍楽葛の実践」(滋賀)、(福岡)

### 第七分科会

「生き方の回復」

司会 藤井登一(新潟) 記録(兵庫)

主レポート 村上俊男(愛知)

サブレポート (大阪) (京都)

### 〇 テーマ別交流会 〇

① 高校三原則と地域の教育運動

レポート「地域教育相談所の活動」(京都)

② 眩暈と組合の問題

レポート「京都のとりにくみから」(京教組、京師私教連)

③ 授業・HR・生活指導のなやみ

レポート「非行にどうとりにくんだか」(京都、京山中)

以上のような内容です。一部確定してないものもありますが、京都のすぐれた実践を中心に充実した分科会が期待されます。東京の幹事委員は全分科会に手分けをして参加します。なむ、レポートを当日持ちこまれる方は、前号の会報でもお知らせしたようにワラ半紙を楕円に二つ折り、横書きとしこめるよう余白をとつたものを一〇枚用意下さい。また、オ一日目の夜の司会者報告者うちのわせには必ずご参加下さい。

## 古在会長大いに元気

連日発行の報因誌21号に古在さんの原稿(インタビュー)がのります。ベトナム人民の完全勝利の喜びを語る会長は元気いっぱい、大会にも全副参加して、恒例の「街会」が予定されています。

## 各県の例会から

○ 神奈川 全国民主主義教育研究会神奈川支部  
六月の定例会 六月二十八日(四) 三時半—六時

場所 横浜平沼高級相談室

テーマ 神奈川県福祉行政の検討、視察覚カードの作成

夏の旅計画の詳細(基地、燃料、平和、公選)

町田市鶴川五二・二五・三〇二 浜本大蔵

〇 崎王集 七月二十八日(月) 十時～三時

場所 教育会館ニ階会議室

テーマ 政経、倫社の授業実践を交流しよう

政経プリント学習他 栗本先生(藤工)

「倫社の授業の状況」 平石先生(岩槻南)

全国民主主義教育研究会埼玉県研究会

池路先生 泉立小川高校、長谷川勝祝 学校〇路ヲ下ニ五九  
自宅ニ、二一〇〇五

〇 熊知泉 例会

日時 六月二十五日(日) 二時～五時

場所 宇野宅(千種区元吉町附ハ一(〇五二五四二二四八))

テーマ 本年度の授業計画とわらわし

基礎学力調査の結果について検討、他

お願ひ、※ 本年度の授業計画についてのレポートがあ

りましたら持参して下さい

※学力調査の実施校はその結果も持参して下さい

〇 東京 月例会

梅雨も明けるところですが、お元気のこと存じます。

学期末の月例会を庄記のようにもろたいと思ひます。ふ

るってご参加下さい

日時 七月五日(日) 二時半～五時

場所 教育会館(御茶屋)

テーマ 「討論を中心とした私の倫社の授業」 北原(小岩)

〇 大阪

五月例会は、ほこりだらけの大阪とちがって、何となく

くゆつたりとして聞ける和教風、とっても気持ちのいい二

日間でした。和蘭教の池本先生ほんとうにありがたうご

ざいました。また、全民研和泉山支部の野口先生もおお

之に存りました。

六月例会は、六月十四日(日) 報告「ランフランシスコ

体制以後の日本」ニ宮先生

### ◇ 生徒の声から ◇

ある足利市で「倫社」の授業を行なうに当たって、

グループ学習をとり入れていきたいが、……という質問

をしたところ、次のような答が返って来ました。

○ グループでやるのは賛成ですが一人でもやる気のない人が班の中にいたら全体としてマイナスの方に行くので、みんながやる気を出したら、グループでやってもよい。

○ 今までの授業の中でグループでの学習はほとんどなかったため、やってみてもよいと思ふ。

○ 時々授業以外の話をするけれど、やる時はグループみんなが協同してやるので、やってみてもよい。

○ 一つの事について討論しあふのちよい

○ どんどんやればよい、しかし、慣れていまいから、

まだこだするものは多目にやってみよう。

○ わがらないところを、各グループで出しあえばよい。

○ 時間が少ないから、雑談で終る。

○ バタバタさわぐ

○ やる人だけやって、後からその人の姿写すから、よくない。

○ 自分で考えて口をききたいから反対

『民主主義教育・愛知』日馬より

## おわびとおわがい

大金の甲込市紙を送りが遅れて申しわけありません。また、申し込み紙の宛先番号・六〇〇はミスプリントです。六〇四にご訂正下さるようお願いします。

チラシ到着後、日時がおりませんが、なるべく早くお申し込み下さい。